

◆ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本学では、卒業に必要な単位を修得し、次に掲げる「学習の到達目標」に達した学生に短期大学士の学位を授与している。

1. 知識・理解

- (1) 国や地域の文化、人間・社会及び環境・自然についての幅広い知識を有している。
- (2) 地域や社会に貢献するために必要な専門知識と技能を有している。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) これまで修得した知識・技能を統合的に活用し、創造的に考えて判断し、行動できる。
- (2) 自立した社会人としてのコミュニケーション能力や表現力を身につけている。

3. 主体性・多様性・協調性

- (1) 他者の多様な意見に耳を傾けながら、問題解決のために主体性をもって行動できる。
- (2) 自己を律し、マナーを守り、責任感を持って周りの人と協働することができる。

人間生活学科

生活する上で必要な専門知識や技能を身につけ、所定の単位を修得した学生に「短期大学士(生活学)」を授与する。

1. 知識・理解

<学科>

【2024(令和6)年度入学生】

- (1) 人間生活に関わる基本的な知識と社会常識を修得している。
- (2) 生活する上で必要なコミュニケーション技能を身につけている。

【2025(令和7)年度入学生】

- (1) 心理学の諸領域に関する基本的な知識と技能を修得している。
- (2) ビジネスマナー、ICT(情報通信技術)活用に関する基本的な知識と技能を修得している。

<医療事務ビジネスコース>

- (1) 医療保険制度や関係諸法、医師事務作業補助、診療情報管理についての基本的な知識と技能を修得している。
- (2) ビジネスマナー、ICT(情報通信技術)活用に関する基本的な知識と技能を修得している。

＜人間心理コース＞

- (1) 心理学の諸領域に関する基本的な知識を修得している。
- (2) 人の話を傾聴し、共感的に応答する技能を身につけている。

2. 思考力・判断力・表現力

＜学科＞

【2024(令和6)年度入学生】

- (1) 論理的に物事を考え、これまでに獲得した知識・技能を適切に活用できる。
- (2) 獲得したコミュニケーション技能やプレゼンテーション技能を活用して、伝えるべきことを適切に表現することができる。

【2025(令和7)年度入学生】

- (1) 自分自身や他者の心理や行動について理解し、適切な行動ができる。
- (2) 修得したビジネスマナー、ICT 活用を始めとする様々な知識と技能を実践の中で活用し、表現できる。

＜医療事務ビジネスコース＞

- (1) 医療保険制度や関係諸法、医師事務作業補助、診療情報管理に関する知識を実践の中で適切に活用できる。
- (2) 獲得したビジネスマナー、ICT 活用、サービス接遇、コミュニケーション、プレゼンテーションに関する技能を実践の中で適切に活用し、表現できる。

＜人間心理コース＞

- (1) 自分自身や他者の心理や行動について理解し、ことばで説明できる。
- (2) 相手や状況に応じて、言語的および非言語的コミュニケーション技能を適切に活用できる。

3. 主体性・多様性・協調性

＜学科＞

【2024(令和6)年度入学生】

- (1) 高い教養を学修し、広い視野を持って、様々な人と関わり合いながら主体的に活動する力を身につけている。
- (2) 社会人として必要な自己管理能力、協調性、倫理観、規律性を身につけている。

【2025(令和7)年度入学生】

- (1) 人のことばに耳を傾け、一人ひとりに誠実に向き合う姿勢を身につけている。
- (2) 社会人として必要な規律性、倫理観を持って協調できる自己管理能力を身につけている。

<医療事務ビジネスコース>

- (1) 学修を通して、地域社会に貢献する姿勢を身につけている。
- (2) 獲得した専門知識や技能を活用して、自ら問題を発見し、解決に向かう姿勢を身につけている。

<人間心理コース>

- (1) 人のことばに真摯に耳を傾け、人の気持ちを理解し、一人ひとりに誠実に向き合う態度を身につけている。
- (2) 人間関係や対人援助について学修したことを、社会の中で実践する姿勢を身につけている。

食物栄養学科

食に関する専門知識と幅広い教養を身につけ、所定の単位を修得した学生に「短期大学士(食物学)」を授与する。

1. 知識・理解

<学科>

- (1) 食に関する基本的な知識および幅広い応用力やグローバルかつ地域に根差した視点を身につけている。
- (2) 数量的に考える能力や情報処理の基本的な技術および食に関する基本的な技術・技能を身につけている。

<栄養管理コース>

- (1) 栄養士として必要な専門知識と栄養の管理・指導ができる技能を身につけている。
- (2) 栄養素の代謝と生理的意義および各種疾患における基本的な食事療法の知識を身につけている。
- (3) 給食業務において安全で安心な食事を提供する技能を身につけている。
- (4) 食事計画など給食サービス提供に関する技術と調理技術を身につけている。

<栄養調理コース>

- (1) 調理師として必要な専門知識と食品の安全性と衛生管理の知識を身につけている。
- (2) 基礎的な調理法を習得し、安全で安心な料理を提供する技能を身につけている。
- (3) 調理施設の設備機器類についての知識と衛生管理に関する技能を身につけている。

2. 思考力・判断力・表現力

<学科>

- (1) 社会人としての教養とマナーを身につけ、専門性を活用することができる。

<栄養管理コース>

- (1) 栄養士として課題に対して柔軟に対応できる思考力を身につけている。
- (2) 対象者に応じた食事計画や栄養指導ができる。

<栄養調理コース>

- (1) 調理師として食文化の継承を担い、おもてなしの心でサービスをすることができる。
- (2) 提供された食材を見て、自由な発想で調理できる。

3. 主体性・多様性・協調性

<学科>

- (1) 幅広い視点と職業人としての社会的責任と倫理観を持って行動することができる。
- (2) 自分の役割を自覚し、協調しながら責任を果たすことができる。

<栄養管理コース>

- (1) 多職種と協働して、臨機応変に行動ができる。

<栄養調理コース>

- (1) おもてなしの態度と自由な発想の調理法ができるよう心がけている。

臨床検査学科

臨床検査の知識と技術を身につけ、所定の単位を修得した学生に「短期大学士(保健衛生学)」を授与する。

1. 知識・技術

- (1) 臨床検査技師に必要な教養と、専門分野の知識を身につけている。
- (2) 臨床検査の操作技術を身につけ、正しい結果を出すことができる。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 習得した知識・技能を用いて、問題解決に向けた創造的思考ができる。
- (2) 自らの意見を第三者に正確に伝えるコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけている。

3. 主体性・多様性・協調性

- (1) 多様性を理解したうえで、自分の役割を認識し、協力して問題解決ができる。
- (2) 医療人になる意識を持ち、人のために役立つ行動ができる。